

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

尿中Legionella抗原再検の有用性に関する検討

2. 研究の対象患者

2015年10月～2026年2月の期間のうちに当院を受診された方で、以下の全ての条件を満たす患者さん

- ・尿中Legionella抗原が一度でも陽性を呈した方
- ・年齢不問
- ・性別不問

3. 研究の対象期間

2015年10月～2026年2月

4. 研究の概要

Legionella肺炎は、急激に進行して重症化しやすく、 β -lactam系抗菌薬が無効であることから、早期の診断と適切な抗菌薬選択が重要である。尿中Legionella抗原検査は迅速かつ簡便で臨床上有用であるが、感度は79%程度と報告されている。今回、初回検査で尿中抗原陰性であったが、再検で陽性となり診断に至った症例を経験した。本症例及び既報を踏まえ、尿中Legionella抗原の再検の意義について記述的に検討する。

5. 研究実施予定期間

2026年5月7日～2027年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〈研究対象者背景〉

生年月日、年齢、性別、既往歴、併存疾患、最終観察日・観察項目、入退院日、診断名、転帰。

〈血液学的検査〉

Hb, WBC, Neut. (%), Plt

〈血液生化学検査〉

CRP, AST, ALT, LD, T-Bil, BUN, Cr, Na, K, Cl, P, CK, 血糖。

〈尿検査〉

尿潜血, 尿中赤血球, Legionella抗原, 肺炎球菌抗原。

〈細菌学検査〉

血液培養, 尿培養, 痰培養, 痰LegionellaDNA定性。

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究対象者(又は代諾者)個々に結果説明することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： 臨床教育センター 小泉幸一

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)